

みずほCustomer Desk Report 2016/08/25 号(As of 2016/08/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.31	1.1302	113.37	0.9636	1.3197	0.7612
SYD-NY High	100.61	1.1311	113.58	0.9684	1.3273	0.7635
SYD-NY Low	100.09	1.1245	112.80	0.9627	1.3162	0.7588
NY 5:00 PM	100.45	1.1263	113.19	0.9669	1.3234	0.7612
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.46/14.96		△25RR	0.585	Yen Call Over	
NY DOW	18,481.48	▲ 65.82	債券市場	日本2年債	-0.1850	2.0bp
NASDAQ	5,217.70	▲ 42.38		日本10年債	-0.0680	1.2bp
S&P	2,175.44	▲ 11.46		米国2年債	0.7618	2.0bp
日経平均	16,597.30	99.94		米国5年債	1.1446	1.0bp
TOPIX	1,306.71	9.15		米国10年債	1.5611	1.5bp
シカゴ日経先物	16,540	▲15.00		独10年債	-0.0890	0.6bp
ロンドンFT	6,835.78	▲32.73		英10年債	0.5530	0.9bp
DAX	10,622.97	30.09		豪10年債	1.8420	▲0.6bp
ハンセン指数	22,820.78	▲178.15		為替市況	USD/CNH	6.6721 0.0143
上海総合	3,085.88	▲ 3.83		ドルインデックス	94.79	0.25
USDJPY 3M Vol	13.23	0.01%	商品市況	CRB指数	185.746	▲2.63
USDJPY 6M Vol	12.35	0.06%		NY金	1,329.700	▲16.40
EURJPY 3M Vol	12.04	0.04%		WTI	46.770	▲1.33
EURJPY 6M Vol	11.60	▲0.16%		Dubai Spot	46.12	0.67

【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
8月24日	15:00	独	GDP・確報値(季調済/前期比)	第2Q 0.4%	0.4%
	15:00	独	GDP・確報値(季調済/前年比)	第2Q 3.1%	3.1%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請件数	8/19週分 -2.1%	-
	22:00	米	中古住宅販売件数	7月 5.39M	5.51M

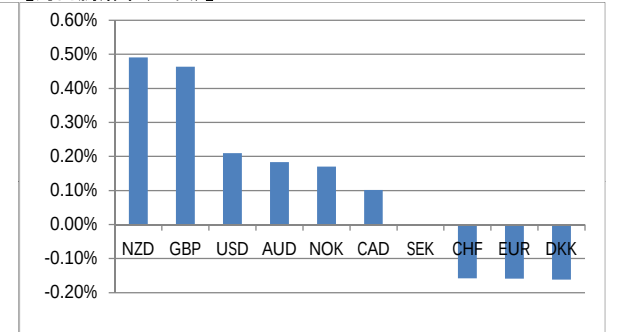
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
8月25日	08:50	日	対内・対外証券投資	8/19週分 -	-
	17:00	独	IFO企業景況感指数/現況/期待	8月 108.5/114.9/102.4	108.3/114.7/102.2
	21:30	米	耐久財受注/除輸送用機器・速報値(前月比)	7月 3.4%/0.4%	-3.9%/-0.4%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	8/20 265K	262K
	22:45	米	サービス業/総合PMI・速報値	8月 51.8/-	51.4/51.8
	-	-	カンザスシティ連銀経済シンポジウム(ワイオミング州)-27日	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.00-101.00	1.1210-1.1310	112.70-113.70

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は小幅なレンジでの推移。やや軟調に推移した米国株や原油先物の下落等の材料はあったものの為替市場の反応は限定的。今週末26日(金)に予定されるカンザスシティ連銀経済シンポジウム(ジャクソンホール)におけるイエレンFRB議長講演を控えてのレンジ推移が継続した。本日は引き続きレンジ内での値動きを予想する。イエレンFRB議長講演待ちの状況に変化はなく、米7月耐久財受注等の材料に対する反応も小幅かつ一時的な影響に止まるだろう。なお、カンザスシティ連銀経済シンポジウム(ジャクソンホール)は本日から27日(土)の日程にて開催される。

東京	東京時間のドル円は100.30レベルでオープン。日経平均が小幅高で寄り付き、その後上げ幅を100円超まで拡大させる中、ドル円も堅調推移、仲値前には100.52まで上昇するが、その後は日経平均が上げ幅を縮小する動きに合わせドル円はじりじりと下落し、一時100.24まで弱含む。その後は膠着感が強まりドル円は方向感に乏しい展開となると、値幅28銭の小幅レンジで推移した後、結局100.37レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ドル円は、100.37レベルでオープン。欧州株がマクシス圏でスタートしたこと、ドル円も100.09まで下落。その後、財務省が17年度概算要求で国債利払い費の前提となる積算金利を0.4%ポイント下げることが伝わると、日銀緩和期待が浮上し、100.27まで反発。100.25レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.3173レベルでオープン。7月の英住宅ローン承認件数が19%減少し、1年ぶり低水準となったものの、投機筋による売り持ち高の巻き戻しは継続し、1.3250まで上昇。1.3229レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1293でオープン。イタリア中部でマグニチュード6.2の地震が発生したこと等が意識されてか、上値重く推移し、1.1266でNYに渡った。(ロンドン7:45)
ニューヨーク	NY時間のドル円は100.25レベルでオープン。NY時間に入って買い戻しが優勢となる中、7月の米中古住宅販売件数は予想を下回る数字となるが、為替市場の反応は限定的となる。その後、ロンドンフィックスにかけて、ドル円は100.50を突破する動きが見られ一時100.61まで上昇したが、101円にかけては上値が重く、100.45まで押し戻された。午後に入り、全体的に26日のイレブンFRB議長の講演待ちの雰囲気に変化はなく、100.45レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1267レベルでNYオープン。ユーロドルはロンドン時間から戻り売りが優勢となり、NY時間に入り一時1.1245まで下落。今週に入ってユーロドルは過熱感から上値が重たかったことや、英ポンドの買い戻しがユーロ高を圧迫している側面もあり、ユーロドルは1.1265近辺での小動きが続き、1.1263レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・橋